

平成二十四年度

広島県立油木高等学校

卒業証書授与式

平成二十五年三月一日



卒業生代表答辞



在校生代表送辞



神石高原町連携型中高一貫教育推進協議会

★進路決定状況【速報】

推薦入試 国公立大学

【町内中学出身 5名合格】

長崎大学「教育学部」

普通科 油木中出身

島根大学「教育学部」

普通科 油木中出身

県立広島大学

「保健福祉学部 理学療法」

普通科 三和中出身

県立広島大学

「保健福祉学部 看護」

普通科 豊松中出身

広島市立大学「情報科学部」

普通科 油木中出身

※国公立前期・中期・後期入試の

最終結果は3月下旬

★合格した主な私大・短大専門学校・就職

就職100%決定

【普通科 38名】

広島修道大「3」安田女子大「2」広島女学院大「1」広島経済大「3」比治山大「1」広島文教女子大「2」広島文化学園大「1」福山大「8」福山平成大「4」岡山理科大「1」松山大「2」山陽学園短大「2」広島文化学園短大「1」京都調理師専「1」京都製菓技術専「1」岡山ビジネスカレッジ「1」岡山ビューティーモード「1」ソワニエ看護専「1」福山歯科衛生士「1」広島ビジネス専「2」府中地区医師会准看護学院「2」尾道准看護学院「1」フォレスト「1」トラスト神石「1」

【産業ビジネス科 31名】

立命館大「1」中国学園大「1」広島修道大「1」福山大「2」東亜大「1」岡山短大「2」山陽学園短大「1」広島国際学院自動車短大「1」京都府立林業大学校「1」県立農業技術大学校「2」県立三次看護専「1」穴吹動物専「1」穴吹医療福祉専「1」穴吹情報デザイン専「1」福山福祉専「1」広島情報専「1」MSH医療専「1」酔心調理製菓専「1」自衛隊「1」上組「2」丸加海陸運輸「2」中元クリーニング「1」ロアール「1」トラスト「1」トラスト神石「1」自営「1」

※平成25年2月28日現在

■選抜Ⅰの志願状況■

学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	12	7	0.58
産業ビジネス	12	6	0.50

■選抜Ⅱの志願状況■

学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	33	16	0.48
産業ビジネス	34	26	0.76

■選抜Ⅰ・Ⅱの総志願状況■

学科名	定員	志願者数	志願倍率
普通	40	23	0.58
産業ビジネス	40	32	0.80

平成25年度 県立油木高校

入学者選抜志願状況



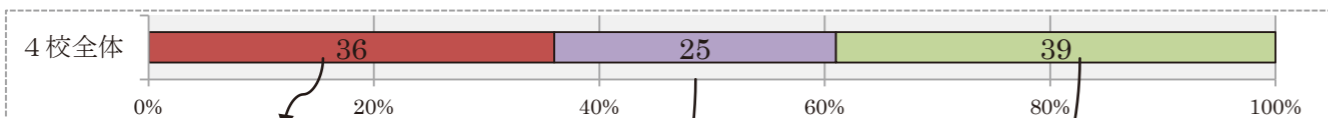
連携型中高一貫教育に係るアンケート調査の結果と考察

本年度も町内の全中学生(206人)・油木高校生(179人)・小学校4～6年生保護者(220人)・中学校保護者(206人)・地域(76人)・中高教職員(72人)を対象として、見出しのアンケート調査を実施しました。その結果の一部を紹介します。

中学生編

● (1) あなたは油木高校に進学したいと思いますか。

① 思う ② 思わない ③ わからない



(2) 「① 思う」と答えた人で、その理由は何ですか。 ㊦：()内は人数です。

- ① 通学に便利 (59) ② 自分の希望 (30) ③ クラブ活動面 (20) ④ 親・家族の薦め (18)
- ⑤ 友人関係 (17) ⑥ 進路実績 (16) ⑦ 教育内容面 (12) ⑧ 通信衛星授業 (11)
- ⑨ 施設設備がよい (6) ⑩ 寮がある (4) ⑪ その他 (1)

(3) 「② 思わない」と答えた人で、その理由は何ですか。 ㊦：()内は人数です。

- ① 高卒後の進路面 (16) ① クラブ活動 (16) ③ 教育内容面 (13) ④ 希望の学科がない (12)
- ⑤ 他校進学希望 (9) ⑥ 通学が不便 (6) ⑥ 友人関係 (6) ⑧ 施設設備面 (5) ⑨ その他 (2)

(4) 「③ わからない」と答えた人で、今後自分が進路選択で重要視したいことは何ですか。 ㊦：()内は人数です。

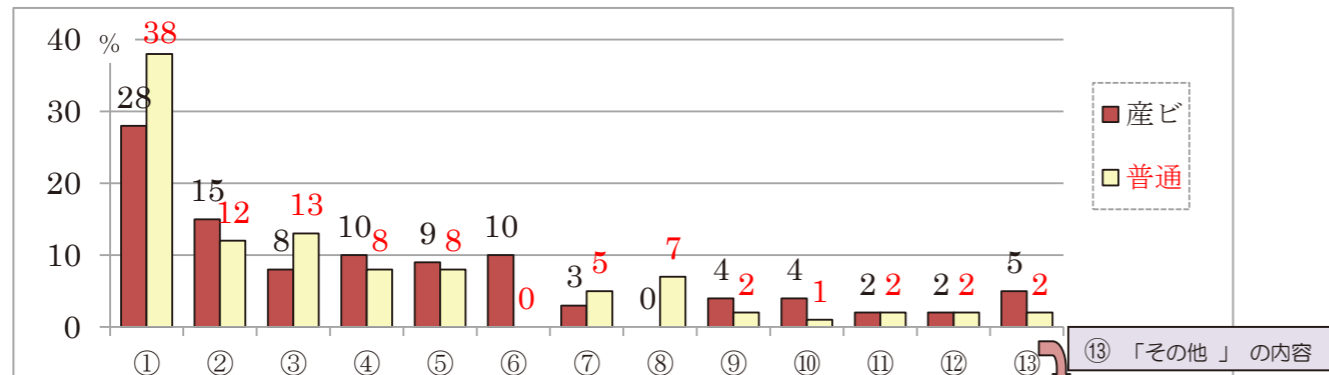
- ① 進路実績 (55) ② 教育内容面 (47) ③ 通学便 (34) ④ クラブ活動面 (33)
- ⑤ 友人関係 (28) ⑥ 伝統校風 (20) ⑦ 親・家族の薦め (19) ⑧ その他(1) ⑨ 施設設備面 (0)

考察 ●4校全体で、油木高校への「進学希望者」が昨年度より7%アップし、反対に「希望しない」が6%減少した。
●「思わない」理由で、「高卒後の進路面」「クラブ活動面」が最も多い。しかし、油木高校は大学進学や就職面で決して他校に劣らず素晴らしい実績を築いている。油木高校だからこそ築けた実績もある。また、「クラブ活動」においても、小規模校ながら体育・文化面共に活躍しており、全国大会にも出場している。また、「教育内容面」においても、普通科・産業ビジネス科共に素晴らしい教育実践をしていることを県教委も高く評価されている。これらの事を十分アピールし、理解を得るよう取り組む必要がある。

高校生編

● あなたが油木高校を進路選択した理由は何ですか。(複数回答可)

- ① 自宅から近い ② 自分の希望 ③ 親・家族の薦め ④ 友人関係 ⑤ クラブ活動面 ⑥ 学科への興味
- ⑦ 進学就職に有利 ⑧ 通信衛星授業がある ⑨ 寮がある ⑩ 評判 ⑪ 教育内容面 ⑫ 経費が安い ⑬ その他

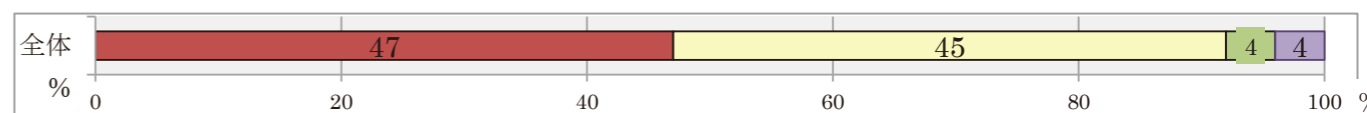


・特に理由はない(4人) ・自分の学力に相応(3人) ・担任の薦め(2人) ・兄弟が通っている(1人) など

考察 産ビ・普通科ともに最も多かったのは、「自宅から近い」で、地元高校を是非とも存続させていく必要がある。学科別で特徴的なものとしては、産業ビジネス科で「学科への興味」、普通科で「通信衛星授業がある」が多かった。

● 通信衛星授業を受けてみての感想はどうか。 [受講回答者 70人 (普:53人, 産ビ:17人)]

① 大いに役に立つ ② 少し役に立つ ③ あまり役に立たない ④ 全然役に立たない

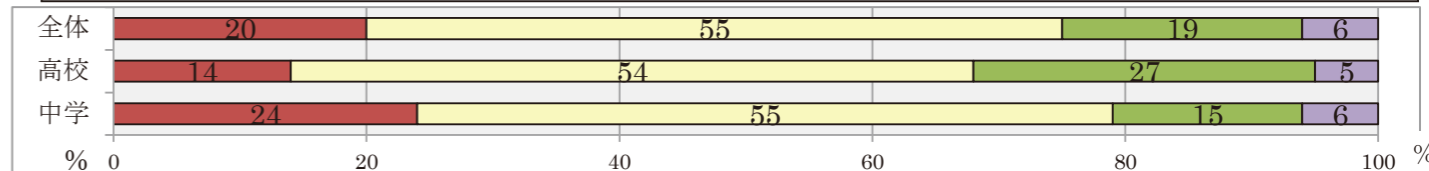


考察 受講生の多くは普通科生(76%)で、大多数の生徒(92%)が「役に立つ」という肯定的回答であった。中でも「センター試験や大学受験に役立つ」と感じていたり、大学進学希望者が多くなっていることから、この事業は続けていく必要がある。また、「油木高校を進路選択した理由」に、普通科生の多くが「通信衛星授業がある」ことを上げていることから、継続化が必要である。

中・高教職員編

● この1年間の中高連携の取組みを通して、自分の意識(理解・関心・意欲)は高まりましたか。

① 大いに高まった ② やや高まった ③ あまり高まらなかった ④ 全然高まらなかった

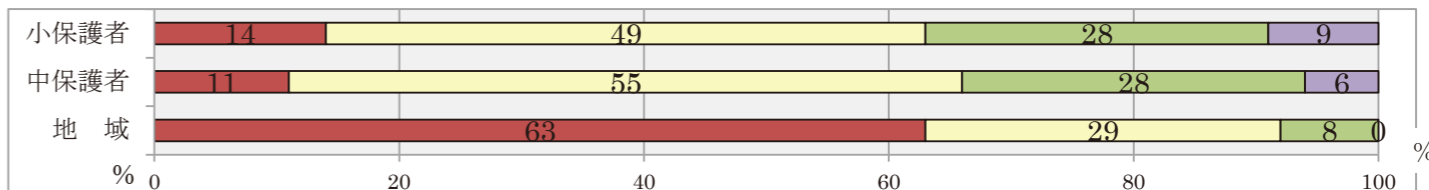


考察 概ね意識の高揚が見られる。しかし、本格実施目標年度(平成26年度)を間近に控え、「意識が高まらなかった」の否定的回答が25%は気になるところである。教職員の意識が生徒や保護者に大きく影響するところもあるので、一考を要する。

小・中保護者、地域編

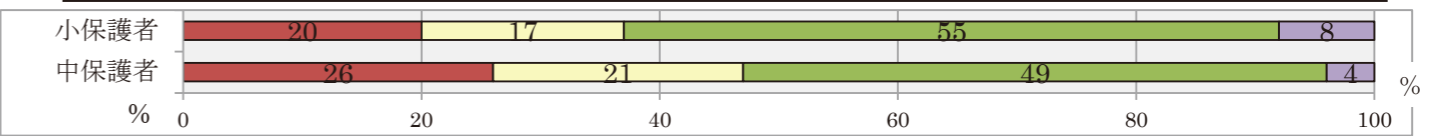
● 神石高原町連携型中高一貫教育への関心や期待がありますか。

① 強い関心・期待がある ② 少し関心・期待がある ③ あまり関心・期待がない ④ 全然関心・期待がない



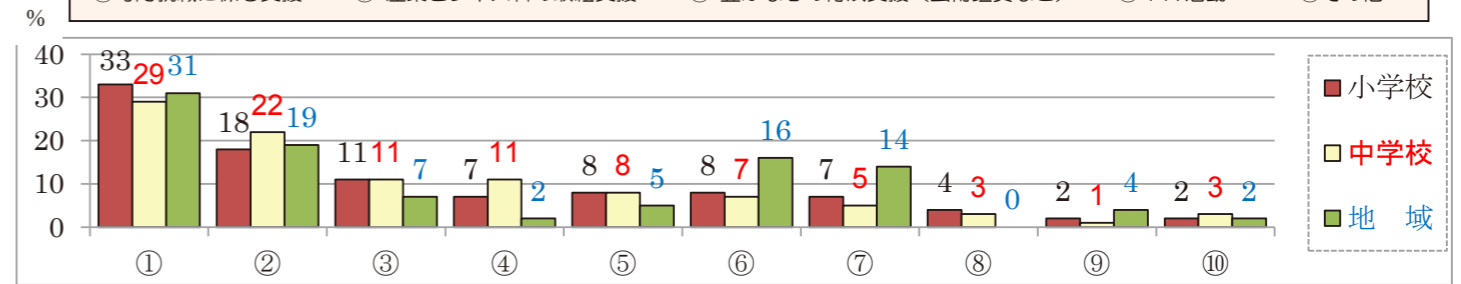
● あなたのお子さんを油木高校に進学させたいと思いますか。

① 入学させたい ② どちらかと言えば入学させたい ③ わからない ④ 入学させたくない



● 油木高校の一層の魅力づくりとして、どんな支援策が必要だと思いますか。必要度の高い順に2つ選んでください。

- ① 学力充実への支援 ② 通学便に係る支援 ③ 生徒への研修費補助 ④ 施設設備充実への支援 ⑤ 部活動への支援
- ⑥ 町内就職に係る支援 ⑦ 産業ビジネス科の取組支援 ⑧ 豊かな心の育成支援(芸術鑑賞など) ⑨ PR活動 ⑩ その他



考察 ●地域、保護者ともに関心・期待度が高い。そのためにも先ずは、中高一貫教育の本格実施を早期に実現することである。
●「油高へ入学させたい」数値をもっと上げていく必要がある。そのためにも教育実績や魅力づくりを高めていかなければならない。
●油高への支援策として、小中保護者・地域ともに強く望んでおられる「学力充実支援」や「通学便支援」については、これまでも検討してきたが、今後も関係部署と十分に協議しながら、出来る支援策を検討していく必要がある。